

# SANKYU

株主の皆様へ

第109期中間 (2017年4月1日~2017年9月30日)

## Thank you 便り



- ISO9001 認証取得
- ISO14001 認証取得

認定通関業者・特定保税承認取得者



証券コード:9065

<http://www.sankyu.co.jp>

# 創立100周年を目前に控え、 いっそうの収益力強化に努め グループの総力を挙げて まい進します

世界的に景気が回復基調を示し、日本企業の業績も好調で国内経済も緩やかな拡大基調を続けてきました。そのなかで当社グループは事業の効率化や収益性の向上などに積極的に取り組み、それらの施策が結実したことで、当上半期も前年同期に続いて増収増益を達成しております。

代表取締役社長  
**中村 公大**



山九門司本店(登記上)にて撮影

Q 当上半期の経営環境と業績はいかがでしたか？

A **様々な施策が奏功し、半期実績として過去最高の売上高・営業利益となりました。**

当上半期(2017年4月1日～9月30日)を振り返ってみますと、製造業・非製造業とも全般的に堅調で、世界経済は緩やかな回復基調となりました。これに伴い外需が拡大したことから国内経済でも輸出関連が復調し、企業の業績改善が顕著となり、個人消費と設備投資にも回復の兆しがうかがえます。

このような情勢の下、当社グループの物流事業は、国内でのお客様の生産量増を背景とした鉄鋼の構内物流や化学の構外物流が増加したことや、消費財の荷動きが堅調で

あったことで輸送作業が増えました。また海外では大型設備の輸出案件などが増加しました。

加えて、事業の選択と集中や事業用資産の稼働率向上などに取り組んだ結果、物流全体としては増収増益となりました。

一方、機工事業は、国内での設備老朽化や高度化の需要を背景とした設備工事などが増えました。また海外での日系企業のSDM、現地鉄鋼メーカーのメンテナンス工事や、据付工事などが増加しました。

加えて、国内外での動員力と工事領域の拡大、工事効率・原価率の改善に取り組んだ結果、機工全体としては増収増益となりました。

その他の事業は、機材賃貸が前年同期比減となりましたが、交通インフラ整備関連工事における施工管理強化や派遣業の増加等が寄与し、増益となりました。

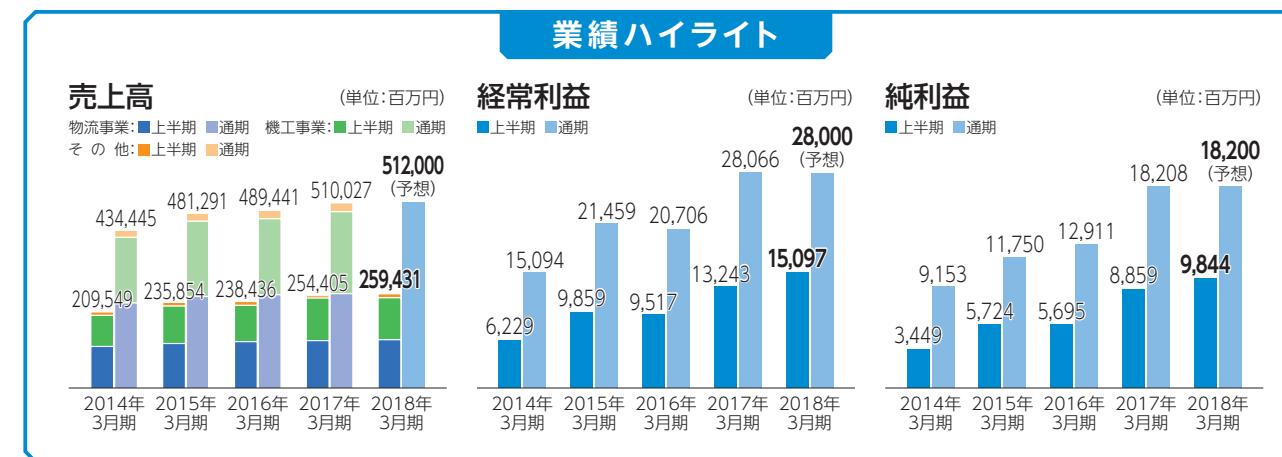
以上のことから、当社グループにおける当上半期の売上高は2,594億31百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は149億73百万円(同10.1%増)、経常利益は150億97百万円(同14.0%増)、純利益は98億44百万円(同11.1%増)となり半期実績としては売上高、営業利益が過去最高となりました。

Q 中間配当と通期業績予想はどうなりますか？

A **中間配当を増配し、通期業績予想を上方修正しました。**

2017年9月30日を基準日とする株主配当(中間配当)につきましては、期初時点の予測では前年同期実績と同額の1株当たり5円としておりました。しかしながら、当社グループにとって株主の皆様への利益還元は最重要課題の1つであり、当上半期の業績や今後の経営戦略なども包括的に勘案した結果、1株当たり6円の配当とすることを決定いたしました。

併せて2018年3月期の通期業績予想に関しましても、当上半期決算の発表を機に、期初に公表した予想を上方修正しました。具体的には、売上高5,120億円(期初予想5,050億円)、営業利益280億円(同255億円)、経常利益280億円(同257億円)、純利益182億円(同168億円)を予想しております。



国内事業

山九グループとして初  
第一回全社フォークリフト  
安全運転技能競技大会を開催

当社グループは、国内屈指のフォークリフト保有台数を誇りますが、これまで支店毎に実施しておりましたフォークリフト安全運転技能競技大会を、2017年7月に初めて全社規模で開催しました。参加者は3つの部門別に学科・点検・実技の試験に臨み、日頃培った技術・技能を存分に発揮しました。今回の競技成績を分析することで、今後の安全で正確な運転技能の向上に繋げてまいります。



競技大会の様子

海外事業

中国の拠点を拡充  
上海経貿山九、  
上海浦西(ほせい)物流センターを開設

上海経貿山九は2017年8月、上海の物流拠点の要所である嘉定(かてい)区に物流センターを開設しました。本倉庫は30,864㎡の床面積を有する新規倉庫であり、中国国内向けの衛生陶器、化成品、電子部品を取り扱います。今回の物流センター開設で、上海市の東西に大規模物流センターを保有することとなります。上海港に隣接する浦東地区、市中心部の消費地に近い浦西地区、それぞれのメリットを活かした物流サービスを提供してまいります。



上海浦西物流センター

CSR

トップアスリートを支援  
フェンシング 大石姉弟が各大会で活躍

当社所属のフェンシング選手である大石葉菜(姉)と大石利樹(弟)が、2017年10月に行われたえひめ国体で大分県選抜として出場し、成年団体フルーレでは姉弟共に4位を獲得し、成年男子団体エペでは優勝という結果を残しました。2人の活躍もあり、大分県選抜は競技別総合成績で2位を獲得しています。また、大石葉菜は同月に行われたエパシニアランキングマッチで優勝を果たし、国内ランキング2位につけています。今後も山九グループは2020年を目指し挑戦し続けるトップアスリートを支援するとともに、従業員一体となって応援してまいります。



大石葉菜(かな)



大石利樹(りき)

2017年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

国内事業

火力発電所建設作業を受注  
国内の石炭・バイオマス  
発電設備建設工事を受注

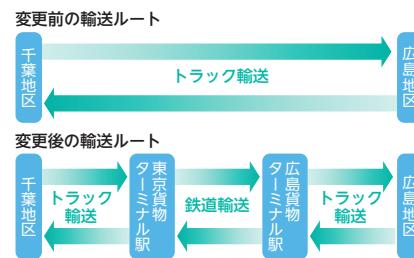
当社は石炭・バイオマス発電設備建設工事を受注し、2017年7月より作業を開始しました。ボイラーやタービンといった発電所の心臓部を含め、多数の建設エリアを当社が担当しています。昨今、政府のエネルギー政策の転換により、火力発電所の建設計画が急速に増加している中、動員力・技術力を基盤に継続した受注を目指します。今後も山九グループは、バイオマス・太陽光・風力などの再生可能エネルギー分野へ積極的に取り組んでまいります。

国内事業

安定的な輸送手段を確保しつつ、環境問題にも対応  
国土交通省が進める  
「モーダルシフト等推進事業」の認定



コンテナ積み込み作業



当社は、2017年10月に国土交通省より5社共同でモーダルシフト等推進事業の認定を受けました。今回認定を受けた事業は、三井化学殿、三井・デュポンポリケミカル殿の広島地区と千葉地区間の製品輸送を従来のトラック輸送から鉄道輸送に切り替えるというものです。更に日本貨物鉄道殿が提供する大型コンテナを導入することでコンテナラウンドユース\*も実現しております。これにより安定的な輸送手段を確保しつつ、環境問題にも対応することが可能となりました。今後はトラックドライバーの労働時間を86.8%削減、CO<sub>2</sub>排出量も70.0%削減を目標にして、取り組んでまいります。

\* これまで往路で使用し、復路で空となっていたコンテナを復路でも利用することで、物流の効率化や輸送に関わるCO<sub>2</sub>削減等、様々な社会問題を解決するための取り組み

株式市場からも注目されています

当社の、①環境問題への取り組みや社会への関わり、②収益や資本効率重視の経営は、株価指数の構成銘柄として評価されています。

1 当社は、世界最大の年金基金であり日本の公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が、2017年7月に新たにESG評価<sup>1)</sup>に基づく投資指標として発表した、「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」<sup>2)</sup>の構成銘柄に選ばれました。

\*1 ESGとは、環境(E:Environment)・社会(S:Social)・ガバナンス(G:Governance)の要素を考慮した事業活動のことであり、近年内外の投資家の間では、財務面だけでなく環境・社会活動など非財務面の取り組みも含めて企業を評価する動きが急速に広がっています。

\*2 この指数は、グローバルな株価指数の提供や企業調査の総合情報プロバイダーである米国のMSCI社が提供しており、同社のESG格付が高い企業を中心に構成されています。

2 当社は、2017年8月に東京証券取引所が発表した、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に5期連続で選ばれました。JPX日経インデックス400は、資本の効率活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸条件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数です。

当社は、株主の皆様のご期待に応えられるよう、今後も環境・社会活動に積極的に取り組み、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

## 株式併合と単元株式数変更のQ&A

第108期定期株主総会におきまして、株式併合の実施、と単元株式数の変更を行うことが決議され、10月1日をもって効力発生となりました。本年6月発行の「Thank you便り」にて株主様から想定されるご質問への回答を掲載いたしました。あらためて効力発生後の簡単なQ&Aをご紹介します。

### Q. 株式併合・単元株式数とはなに?

**A.** 株式併合とは、複数の株式を併せてそれより少ない株式とすることです。今回当社は5株を1株に併合しました。  
単元株式数とは、株主総会での議決権の単位や、証券取引所での売買の単位となっている株式数です。今回当社は1,000株単位であったものを100株単位に変更しました。

### Q. 株価が変わったのはなぜ? 配当金はどうなるの?

**A.** 株式併合を行っても会社の価値(時価総額)は変わりありませんので、併合により株式数が5分の1になったことに伴い株価が5倍に調整された結果、株価が変わりました。

例) 900円 → 4,500円

また、株式数が減少する分、1株あたりの配当金額も変わります。今回の中間配当では影響ありませんが、期末配当から併合前基準の予想配当金の5倍になります。

例) 7円 → 35円

なお、株主様がお受け取りになる配当金総額が、増配や増配などを除き変わることはありませんのでご安心ください。

### Q. 自分の株式数がどうなったか知りたい!

**A.** 10月下旬に株式併合手続き完了のお知らせをお送りさせて頂いておりますので、そちらをご確認ください。  
併合前に5株未満であった株主様は、上記お知らせが届きませんが、本書と合わせてお送りしております第109期中間配当金並びに分配金領収書に内訳が記載されていますのでご確認ください。  
詳しくご確認頂く場合は、お取引の証券会社若しくは後記の株主名簿管理人へお問い合わせください。

### Q. 併合後の株式数で小数点が付く場合はどうなるの?

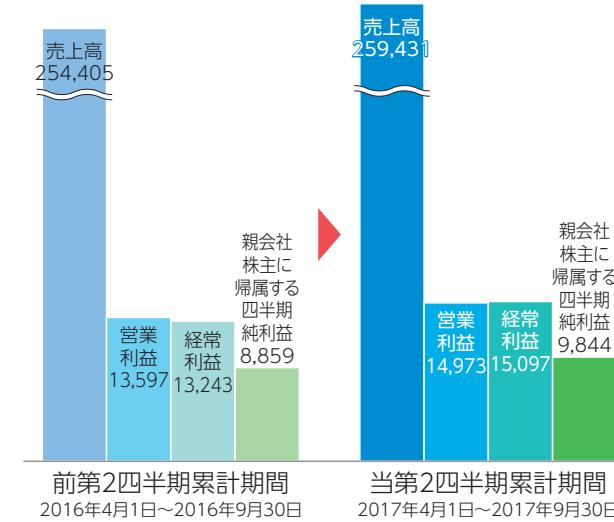
**A.** 併合後に株式数に小数点が付く場合は、例えば併合前に1,004株お持ちの場合、併合後は200.8株となり、0.8が「1株に満たない端数」となります。この端数部分につきましては、会社法の定めに従い当社が自社株式として買取り、その金銭を株主様へお支払いたします。  
該当の株主様は中間配当金と合算してお受け取りできますので、同封しております第109期中間配当金並びに分配金領収書をご確認ください。

前述のQ&Aでもご紹介しておりますが、株主様のご所有の株式数によっては、併合に伴い1株に満たない端数(端数株式)が生じております。また、併合前ご所有の株式数が5株未満の株主様につきましては株主としての地位が喪失しております。該当の株主様におかれましては、本書と合わせてお送りしております第109期中間配当金並びに分配金領収書に、配当金と処分分配金として記載しておりますので、ご確認の上、お受け取りをお願いいたします。

本件につきましてご不明な点がある場合は、お取引の証券会社、または後記の株主名簿管理人へお問い合わせください。

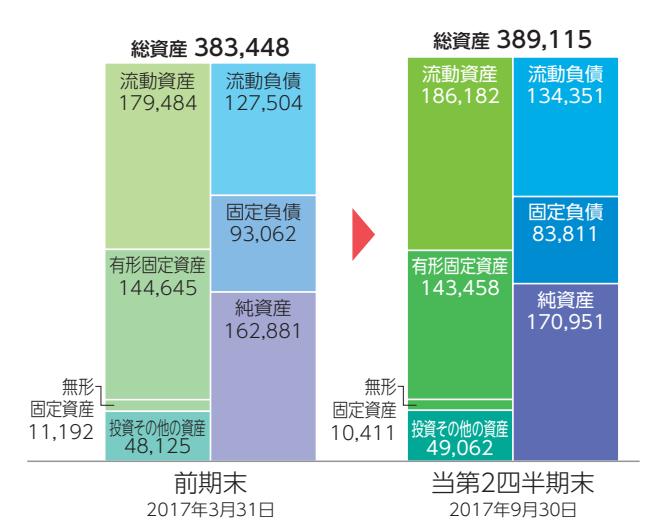
### ① 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



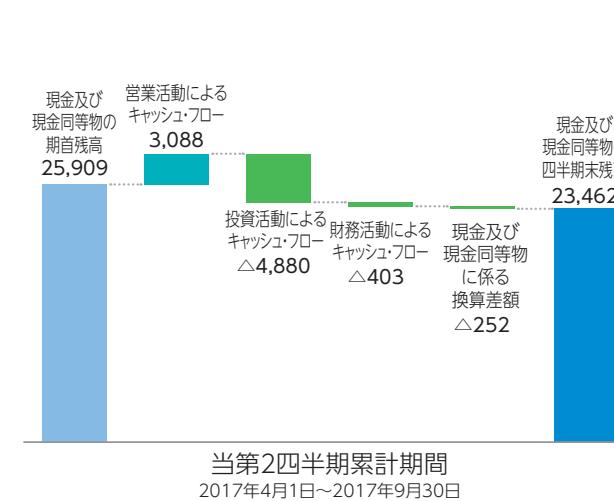
### ② 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



### ③ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



## POINT

- 国内におけるSDMがマイナー年ではありましたが、前第2四半期連結会計期間より開始した店舗向け配送作業の期間差収益や大型設備輸送案件などが増加、また設備工事の受注拡大と収益性改善、海外での保全・整備作業の増加などにより、前年同期に比べ増収増益となりました。
- 作業量の増加に伴う売上債権の増加などにより、総資産は前期末比56億66百万円増加しましたが、負債の減少および純資産の増加により、自己資本比率は前期末から1.4ポイント増加し、43.1%となりました。
- 法人税・消費税などの季節資金支出が増加し、営業活動によるキャッシュ・フローが減少したことを主因に、当第2四半期の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比24億46百万円減少し、234億62百万円となりました。

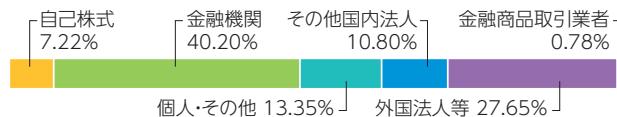
## 株式データ (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数 1,000,000,000株  
 発行済株式総数 326,078,030株  
 株主数 11,521名

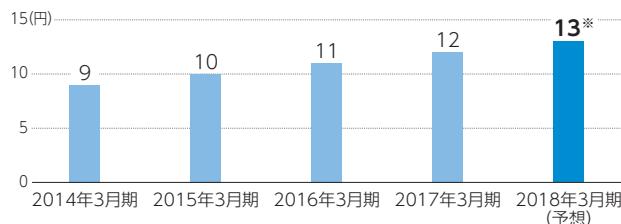
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,832	8.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,316	5.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	13,797	4.56
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A.380578	13,046	4.31
新日鐵住金株式会社	10,080	3.33
公益財団法人ニビキ育英会	9,800	3.24
JP MORGAN CHASE BANK 380684	9,364	3.10
株式会社みずほ銀行	8,310	2.75
山九従業員持株会	7,089	2.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	6,982	2.31
合計	120,616	39.87

(ご注意) 1. 上記の他、当社保有の自己株式23,525千株があります。  
 2. 持株比率は自己株式を除いて計算しております。  
 3. 株式数については千株未満の端数を切り捨てて表示しております。

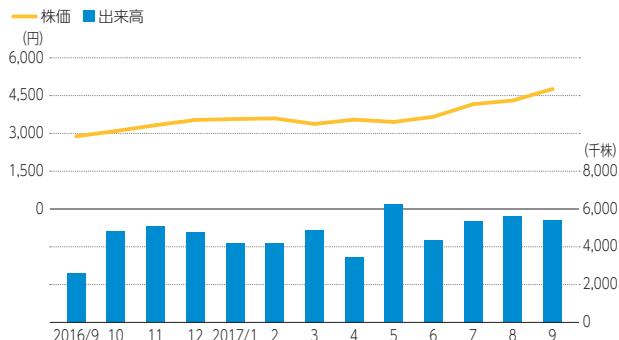
## 所有株式数別構成比率



## 1株当たり配当金 ※2017年10月1日の株式併合考慮前の数値 (期末配当金予想の7円は35円相当になります。)



## 株価・出来高の推移 (株式併合後の調整値)



## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日まで  
 期末配当金 3月31日  
 受領株主確定日  
 中間配当金 9月30日  
 受領株主確定日  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座 口座管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒183-0044  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
 公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL  
<http://www.sankyu.co.jp/koukoku/>  
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



**山九株式会社**

証券コード:9065

<http://www.sankyu.co.jp/>

将来情報に関するご注意

本誌の掲載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測にはリスクや不確定要素が含まれており、実際の成果や業績と大きく異なる場合がありますのでご注意ください。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。